

安心してボランティア活動に取り組むために

## 「ボランティア活動保険」のご案内です

佐世保市ボランティアセンターでは、ボランティアの皆さんが安心して活動していただくために、活動中の事故等に備えて「ボランティア活動保険」の加入を勧めています。

「ボランティア活動保険」は、ボランティア活動中の様々な事故によるケガや、他の人にケガをさせたり、物を壊したことにより損害賠償責任を追われた場合を補償する保険です。

### 【補償内容の一部】

- ◆活動場所と自宅との往復途上の事故も補償の対象となります。  
(ただし通常の往復経路であること)
- ◆ボランティア自身の食中毒や感染症、熱中症も補償されます。  
その他、詳しくはボランティアセンターにて配布しています  
「ボランティア活動保険」のパンフレットをご覧ください。



### 1名分の保険料

	基本プラン	天災・地震 保証プラン
ほけんりょう 保険料	350円	500円

補償期間は、加入日の次の日から来年3月31日迄。  
加入申込みはボランティアセンター、または社会福祉協議会で受け付けています。  
活動を始める前に加入しておきましょう。

## 最新のボランティア募集情報は、ウェブサイトでご覧いただけます！

佐世保市社会福祉協議会ホームページ内にあります、ボランティアセンターのページでは現在募集中のボランティア情報を随時更新しています。

その他、ボランティアセンターへの登録方法やボランティアの依頼方法、あなたに合ったボランティアを選ぶ“タイプ別診断”など、様々な情報を掲載しています。

ホームページは、パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。  
ぜひ、ご閲覧ください。



『佐世保市社会福祉協議会』のホームページの右上にある『ボランティア』から『ボランティア活動』を選んでクリックしてください。



左のQRコードを、お手持ちのスマートフォンで読み込めば、そのままボランティアセンターのページが表示されます。



## サマーボランティア・キャンペーンの開催延期のお知らせ

例年、皆さまが気軽にボランティア活動を体験していただける機会を提供するため、7月1日～9月30日に開催しています『サマーボランティア・キャンペーン』ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行拡大状況、社会情勢等を受け、開催を延期することとなりました。  
開催期間・内容等については、詳細が決まりましたら、改めてご案内させていただきます。

# あなたらしさで広がるボランティア くれよん KUREYON



2020年度 第2号  
令和2年6月1日



### ボランティアさんの話題

## 手作りマスクを 保育園へ寄贈

### ◆特集◆

始める前に知っておくと役立つ  
『必見!ボランティアの  
心がまえ7ヶ条』

佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)  
〒857-0864 佐世保市戸尾町 5-1 させぼ市民活動交流プラザ 1階  
TEL : 0956-23-3905 / FAX : 0956-42-0102 E-mail : kureyon@sasebo-shakyo.or.jp  
時間 / 10:00~18:45 (火~土) 10:00~17:00 (日)  
休館日 / 月曜・祝日・年末年始・プラザの休館日



# ひっけん 必見! 『ボランティアの心がまえ7ヶ条』

「ボランティア活動」とは、お互いが支え合い、全ての人が幸せに暮らせる事を願って、自分から進んで行う活動です。

今回は、ボランティアを始める前に知っている役立つ『ボランティアの心がまえ』をご紹介します。

## やくぞく まも 1. 約束を守りましょう。

ボランティア活動はみずから（自分から）すすんで行うものです。だからと言って、約束を破って休んだりしてはいけません。約束は守りましょう。もし、都合が悪くなった場合は必ず事前に相手の方へ連絡をしましょう。

事故やケガには十分に気をつけて、笑顔で楽しくボランティア活動を行いましょう!

## ひみつ まも 2. 秘密を守りましょう。

ボランティア活動をした時に知った、個人の秘密は絶対に他の人に話してはいけません。

個人情報 は秘密厳守!

## あいて たちば 3. 相手の立場にたちまじょう。

ボランティア活動には相手があります。善意が押し付けにならないように、相手の立場に立って考えて行動しましょう。

相手を気遣う心を忘れないように!

## めうえ ひと かなら 4. 目上の人には必ず「さん」づけで呼びまじょう。

例えば、高齢者介護施設などで「おじいちゃん」「おばあちゃん」と呼ぶよりも「田中さん」など目上の方に対し尊敬の気持ちを忘れずに、名字で呼ぶように心掛けましょう。相手が嫌な気持ちにならないようにしましょう。

体調が悪い時は、無理をせずに活動を控えましょう!

## げんき はや なかま 5. あいさつは元気よく、早く仲良くなるよう心掛けまじょう。

活動先でのあいさつは笑顔とハッキリした声で。一日も早く、皆さんと仲良くなるよう心掛けましょう。

## きんちよう むり しぜん たの かつどう 6. 緊張しないで、無理せず、自然に、楽しく活動まじょう。

どうしても、最初は緊張しますが無理をしないで、自分のペースで長く活動をつづけることが大切です。

## かつどうほけん かにゅう 7. ボランティア活動保険にはできるだけ加入まじょう。

安心してボランティア活動を始めるためにも、ボランティア活動保険に加入しましょう。

道に落ちているゴミを拾ってゴミ箱に入れたり、困っている人に手を貸したりすることも、立派なボランティア活動の一つです。

ボランティア活動は、地域や社会をよりよくしていくことに役立つとともに、自分自身も心豊かにしてくれる力を持っています。

まずは、自分ができることを見つけて実行してみましょう!



## きやう 手作りマスクを保育園へ寄贈されました!



須佐保育園への寄贈の様子  
保育園には、ボランティアセンターの職員がお届けしました。

現在、新型コロナウイルス感染症予防のためマスク不足が続いています。

令和2年4月8日、当センターに登録されている個人ボランティアさんが、マスク不足で困っている保育士の皆さんの助けになればと、須佐保育園と吉井北保育園に手作りマスク合計60枚を寄贈されました。

須佐保育園の園長先生からは「ありがとうございました。大切に使用させていただきます」との感謝の言葉がつけられました。

また、ホームレス支援を行われているボランティアグループの利用者と支援者へ、手作りマスク40枚の寄贈も行われました。



布の裁断から、ミシンでの縫い付けまで、改良を重ねて一つ一つ丁寧に手作りされました。



裏にフィルターを付け替え可能なノーズワイヤーの入った、こだわりのプリーツマスクです。



ボランティアグループには、こちらの立体マスクを寄贈されました。

人と接するボランティアの活動が難しい日々が続いています。

いま私たち一人ひとりが今できる行動である、3つの密(密閉、密集、密接)を避け、マスクや手洗いを心掛けて、一日も早く日常を取り戻せるように過ごしていきましょう。

